

7
1
17

数理解析研究所講究録 366

短期共同研究

複素領域上の線型解析

禁帯出期間

54.12.21—12.28

数研図書室

京都大学数理解析研究所

1979年10月

京都大学

2704210

図書

数理解析研究所

短期共同研究
複素領域上の線型解析 報告集

1979年7月30日 - 8月4日

研究代表者 荷見守助

目次

1. はしがきxi
2. On the Pick - Nevanlinna problem 1
東工大 理 吹田信之
3. Linear extremal problems14
茨城大 理 林実樹広
4. H^p 族の境界値について30
京産大 理 志賀啓成
5. H_p 極値函数について48
東工大 理 小林昇治
6. Adapted cones とその応用.....63
大阪市大 理 池上輝男
7. 閉集合の上の一様近似について71
姫路工業大 阪井章
8. 面の動きと挙動空間83
京郡工繊大 米谷文男

9.	Koebe の定理について	101
	京大 教養 藤家龍雄	
10.	セゲー核の積による積分変換といくつかの関連した 問題について	111
	群馬大 工 斎藤三郎	
11.	調和次元について	130
	大同工大 瀬川重男	
12.	相対調和次元	137
	名工大 中井三留	
13.	$H^p(\mathbb{R}^n)$ についての一注意	150
	茨城大 理 藪田公三	
14.	無限次元線形システムの実現問題	156
	千葉大 理 柳原二郎 鉄道技術研 川瀬 真	
15.	Nevanlinna の因数分解定理の拡張 (B. Korenblum の理論)	176
	茨城大 理 荷見守助	

は し が き

この報告集は短期共同研究“複素領域上の線型解析”研究会（昭和54年7月30日～8月4日）に於ける講演を輯録したものである。この分野に含まれる問題は多種多様であるが、今回の研究会では線型極値問題及びHardy族を中心課題として集中的に討議し、併せて参加者各自の研究も随時発表を行い検討した。この小冊子が読者のこの分野への興味を多少なりとも喚起出来れば幸いである。

昭和54年10月9日

研究代表者